

カタクリは早春の花の代表ですが、現在、自然の環境で普通に見られるところは非常に少なくなりました。私の記憶では、多摩丘陵の西端の「京王片倉駅」の近くで見たのが最初です。この時は、自然写真家の足田輝和氏に案内してもらいました。「雑木林の四季」という写真集で有名な方です。

もう一回は、多摩湖（村山貯水池）の湖畔で見た時です。この時は、東京都水道局に許可をもらって、多摩湖畔の巡視路の植物調査をした時です。この巡視路は一般の人は立入禁止なので、狭山丘陵の本来の自然が残っていました。多摩湖の一番奥（上流）の湿地帯の奥に、カタクリの大群落がありました。その後も奥多摩の山林や、奥秩父の前衛丘陵で何度か見かけましたが、東京都内では見た記憶がありませんでした。

先日、小石川植物園のロックガーデン（普段は非公開）でカタクリの花が咲いていました。雑木林の明るい林床や斜面を好む野草で、普段は人の気配がない場所に、ひっそりと咲く姿に、ちょっと感動を覚えました。

（2025 年 4 月上旬／文京区・小石川植物園）

